

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-1-6	事務事業名 泉町・東伏見市営住宅の建替事業	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	--------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 老朽化した泉町、東伏見の市営住宅の建替えと併せて、高齢者、障害者向けの住宅を確保する。本事業を実施することにより、高齢社会に適合した住宅ストックや居住環境の向上が図れるとともに、グループホーム等の社会福祉の併設が可能となる。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)住みやすい住環境の創造 (主要施策)市営住宅の建替(安1-1)
	実施内容、実施方法 居住者懇談会、アンケートの実施等	根拠法令等 西東京市公営住宅建設及び建替計画に関する検討委員会設置要綱
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 建替え等に関する懇談会回数	活動指標の考え方(定義) 建替えのために実施した懇談会等の回数
	成果指標名 懇談会で出された意見の数	成果指標の考え方(定義) 懇談会でだされた意見の数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		23	6	2	44
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		23	6	2	44
	所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.2
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	1,666
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	848	833	835	1,710
	単位当たりコスト (E)=(D)/( 建替え等に関する懇談会回数 )	千円		416.53		
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			0	0
	実績値	回	0	2	0	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	件			0	0
	実績値	件		30	0	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成15年5月東伏見市営住宅居住者に対するアンケートを実施。建替えについて 賛成(条件付)5名 反対5名 どちらかといえば反対3名 無回答4名
	国・都・他市・民間等 における類似事業	都の方針として都営住宅等の建替えは行わないとしている。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	平成17年度以降国の補助金が廃止となる。新たに「地域交付金」制度が設けられるが、市営住宅の建替えだけでは適用とならない。

コード 8-1-6	事務事業名 泉町・東伏見市営住宅の建替事業	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	--------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	懇談会及びアンケートの実施のみで、建替えの具体的な計画が進んでいない。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	老朽化した住宅で建替えは必要であるが、反対する住民が多くまた財政面での負担が大きい。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	東伏見、泉町に分散している市営住宅を一箇所にまとめた建替計画であるため、仮設住宅、建設地をどのように確保するのか、この点が問題がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	高齢者用住宅(シルバーピア)を兼ねた建築計画であるため、高齢者にとっても利便性の向上となる。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	これからの方向性がなく、建替え事業の根本的な見直しが必要である。

17年度における改善点	現在具体的な取組み無し。
-------------	--------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。